

第98号		日時： 令和6年4月9日(火)	
浦安とみおか川柳会		出席者： 真田宣子、塩見和昭、高橋賢哉、谷口勝、 長谷川智、三浦みちえ、光永ひかる、藤三休、 山岸順	
四月例会結果		講師： 佐藤青樹	
		点数	
		講師 推奨 課題「泣く」互選 講評＊佐藤青樹	
2		3	
●線香の煙目に沁む友の通夜 一読明快の句 ユニセフのメール見る度込み上げる 一読明快の句		●泣きまねの薄目チラリと母を見る 一読明快の句 長生きのしすぎ財布に泣かれてる 絵が見え、一読明快の句	
勝		和昭	
●母なくす悲しさいやす春はそこ 一読明快の句 春うらら嬉し涙と笑い雛 解釈がむつかしい句か		●泣き砂の恋に破れて踏み歩く 「泣き砂の恋」は、この句を読む人にはわからないのでは 悔し泣きこぼれ続けて海になる 余程悔しいことがあったのですね	
宣子		和昭	
●黒喪帯ほどきあふれてくる涙 絵が見え、一読明快の句		●子の巣立ち泣いて笑って送り出す 絵が見え、一読明快の句	
勝		みちえ	
●うぶ声に村の活気が蘇る 一読明快の句		●青き春声潤ませて答辞読む 卒業風景の句でしょうか	
みちえ		和昭	
2		1	
●友の死に涙も枯れるドライアイ 友の死に涙も枯れるほどに泣き ダイヤ婚予想もつかず泣き感謝 予想もつかず泣いて感謝しているのは誰にでしょう 悔しくて片手で涙振り払う 悔しさの理由は作者だけが分かる句か		●首相決断馬謖のたとえ実践か 「泣いて馬謖を切る」の例えを上手く読み込んだ句 泣きながら次の一手を組み立てる 一読明快の句	
勝		賢哉	
●ダイヤ婚両親妻子泣き感謝 ダイヤ婚の妻も泣いて夫に感謝しているのでしょね ダイヤ婚生活防災泣き生き 五・八・四の句か		●泣くためにする玉葱のみじん切り 玉葱のみじん切りは泣くためにするかのようです」ということ 子供らと泣いて笑って突っ走る 「泣いて笑って」の背景が読者には分からないか 請求書何度見直し泣きを見る 読み返し泣き目を見てる請求書 泣かずとも顔がきびしい手紙書く もう少し場面が見えて来ると良いのでは 傷心の涙こらえて書く計報 抱き上げる悲しい時にぼくの猫 失恋を癒す愛猫抱き締める 解雇され泣きこらえて職探し 解雇され涙こらえて職探し	
昇柳		順	

		課題「タッチ」二人選 光永ひかる選	
秀		戦争から平和にタッチ早くして つい触れてメール原稿全て消え 我が主治医タッチだけして薬出す 恋文をポツリポツリとキーボード 老いの指タツチパネルに遊ばれる ヨチヨチがママの背中へタツチする この時代どこにタッチもセクハラに 万馬券ビデオにまかすタッチの差 裏金はオレノータツチ秘書任せ 諭吉の束に触れて正論向きを変え イトカワに触れるや採取未知の砂 魁夷の絵の青い世界が神秘生む 笑顔のホッペごはん一つぶそと取る 一浪をひとなみ越えてハイタッチ 筆使い人柄にじむ柔らかさ 急ぎ足タツチミスって赤ランプ	勝 勝 勝 勝ちえ 勝ちえ 順 勝ちえ 宣子 順 賢哉 順 和昭 和昭 宣子
客			
自由吟 谷口 勝選			
秀		雨の中桜吹雪にはほうたれ 鼻の穴なげ2つと聞き馬鹿にされ 毒舌をプラス思考に変える知恵 とりあえず百までずらす停止線 国会に嘘発見器常設を やり遂げた若い喪主での家族葬 良い事があって地蔵に手を合わす	宣子 三休 ひかる 順 賢哉 智 勝ちえ
客			
秀		老いの指タツチパネルに遊ばれる この時代どこにタッチもセクハラに ピアノでは軽やかタッチ素晴らしい 戦争から平和にタッチ早くして 我が主治医タッチだけして薬出す ヨチヨチがママの背中へタツチする 恋文をポツリポツリとキーボード 裏金はオレノータツチ秘書任せ つい触れてメール原稿全て消え 諭吉の束に触れて正論向きを変え 万馬券ビデオにまかすタッチの差 冬と春タツチ惜しむか寒暖差 筆使い人柄にじむ柔らかさ 魁夷の絵の青い世界が神秘生む イトカワに触れるや採取未知の砂 神の手がゴールを決めて大波乱	順 宣子 昇柳 勝 勝ちえ 勝ちえ 勝ちえ みちえ 賢哉 勝 順 順 勝 ひかる
客		敗戦の向こうにあった青春譜 金よりも心がバット湿らせる 靖国のつぼみにたかるマスメディア 絵手紙に無理はするなとフリージア 戦争の言葉に慣れるその恐怖 梨園の子家伝の型を押し込まれ あやふやな記憶頼りに旅に出る 孫帰省フル回転のパン焼き器 白内障柳の眼にこりボツばかり	順 和昭 和昭 ひかる みちえ 和昭
客			
「犬吠」4月 掲載会員句		ジム再開膝ガクガクと奮い立つ(しだれ) 米寿過ぎ戦が続く坂だらり(昇柳) 不掲載が派閥自爆の導火線(和昭) 曲線を引けぬ男の正義感(順) 老老の介護終わって泣き笑い(勝) 贅沢に冬のトマトでジャムを煮る(みちえ)	
例会のお知らせ		日時 令和6年6月11日(火) 13:00~16:00 場所 富岡公民館 7月例会:休会 8月例会:8月13日(火) 浦安川柳大会 7月14日(日) J:COM浦安音楽ホール	

川柳いろいろ

没句

一人選（タツチ）

スマホ手に持ち疲れても離せない
スーパ―で展示品買い断られ
あちこちにサワツテ手にはゴミだらけ
手を握り次のデートに期待もち
大人なる友達作れハイタツチ
止めてくれ花より談合食べられぬ
握手の手洗わず3日もう限度
ピアノでは気軽タツチだ止まる駄目
受付のおばさん誘って断られ
タイピング今はパネルをそっと押し

自由吟

麻雀で上がり見逃し馬鹿を見る
俯瞰して老害だと言われまい
セルフレジ小銭を数えて長い列
ピクニック天日干しして憂さ晴らす
カタログの欲しいページと勝負する
ワンちゃんが電柱だよと立ちしよんす
禿げた父へアードライヤーで火傷し
固結び解けない心さようなら
喋らなくなった風呂場で言う一人
日本トイレ外人の評判尻上り
麻雀で上がり見逃し馬鹿を見る

遠藤砂都市

著作集 モザイクの記

指揮棒を渡して男たそがれる
忍従のワイフの皺に借りがある
片方の耳が落ちてる自己主張
折半の男女の罪は割り切れぬ
喜怒哀楽その合計の現在地
カラフルな生きざまカラフルな薬
町内のアンテナには守秘義務がない

川柳の理論と実践

新家完司

方言を考える

川柳は共通顔（標準語）で表現するのが基本ですが、
国訛りを取り入れた「方言川柳」もあります。

方言川柳はどの県にもありますが、いちばん多く目に
付くのは大阪弁のものです。川柳が盛んな土地柄もあり
ますが、関西出身のお笑いタレントの活躍などで、大阪弁
が全国的に発信され、今や方言というよりも第二共通語
のように認知されていること、そして語りのおもしろさが
川柳に合っているためでしょう。

- ・ わろてんといっぺん怒ったりなはれ
- ・ 年だっせ年だんなど太鼓橋
- ・ いつまでも暑おまんなど彼岸過ぎ
- ・ かなんねん好きなおひとの煙かて
- ・ 氣いつけや言うて嫁はん転んでいる

右それぞれ、大阪弁で音読しなければ味が出ません。
特に一句の大阪弁の「わろてんと：」は、はじめから
終わりでまで、こてこての大阪弁で構成されていますから、
共通語のアクセントでは口誦することさえむづかしい
でしょう。そして、この句を共通語に訳しますと「笑って
ばかりいないで一度叱ってやりなさい」となつて、
おもしろさが半減してしまいます。句の内容もさること
ながら「大阪弁の味」を存分に発揮した作品です。
このように、応現の温かみとか微妙なおもしろさは、
その地域以外の人には伝わりにくいものです。
従つて方言川柳は全国大会などに提出するには不向きで
いわば地方限定版と考えるべきでしょう。
左は各地の方言川柳です。

来てね

小さくなる

① またきいよ手を振る母がこもうなる

高知

やめなさい 弱い

悪いぞ

② おきやーすかやぐい吊橋おそぎやーせ

愛知

お宅では

婿さん

良かった

③ おめらえのええもござまでええがったな

茨城

ほどほど

④ てげての距離を守っている平和

鹿児島

頑張れよ

⑤ ちばりよー祖父の一声奮起する

沖縄

鑑賞 犬吠 令和四年五月号より

フラワ―ライン

・ 千紫万紅より

さざ波は海のため息誰を恋う
独り言のように茹で上がるセロリ
シングルで寂しくないか月に問い
青い空心の景色入れ替える
犯人を追いつめるのは崖の上
生きづらい心かかえてどこへ行く
三年たちマスクが顔の皮膚になる
語り部の様にブランコ揺れている
結び目がほどこけ他人の顔になる
歴史読む少年の目が見る明日

北島 溧
河原田美奈
川津満英
三宅洋子
山本由宇
堀江喜代子
岩崎マサエ
神林洋右
山上真悠子
鈴木純子

・ 黒潮集より

大銀河地球の鬱を包み込み
世の不思議人の不思議と交差する
真っ白なスイートピーは演出家
悲しみを語りはしない樽の底
昼下がりがりそろる自由欲しくなる

池下富裕
桶谷康子
平蔵 柊
磯崎ひろこ
米島暁子

金波銀波（各地句会報より）

決断が出来ず仮面を剥がせない
笑いたたえ言い分を聞く腹の虫
初孫の生きるオーラに包まれる
ベクトルが自分に向かう独りの身
もつれ糸解くに解けない猜疑心
美味しいと言ったばかりに届く味噌
昼行灯言われ続けて敵も無い
平成の舊令和の世を支え
出会えより別れが増える一里塚
万札の束でぶちたいヤツがいる
小三治の枕可笑しくて哀しくて
アンテナが実家に向かう親の老い
売れっ子のアイドル歌手の名は知らず
口説かれた熟女椿が散るように

小林洋子
河村 昌
渡辺柳山
伊藤淑江
小林きらら
山中 隆
鈴木照子
小林和男
深町閑居
はなこ
山本由宇
神津真智子
廣中京胡
鈴木諄三

互選句 課題「樂觀」

[illegible]